



6月
定例会

ワクチン接種順調に進行	2P
一般会計補正予算	4~5P
ズバリ町政を問う!	8~18P

志免町っていいね!



71歳 まだまだやれる!!

東京オリンピック・パラリンピック聖火ランナー、志免町代表を務めた青木茂氏は、剣道教士8段。なんと、8段の合格率はわずか1%以下。

当時、志免炭鉱工業所の野球チームで活躍する父親の影響でプロ野球選手になるのが夢であったが、猛反対された。その時の父のひと言で小学6年生から剣道を始めたそうだ。

前東京オリンピックの聖火リレー時、中学生だった青木さんは沿道から声援を送った。「まさか自分がトーチを持って走るようになるとは。オリンピックの種目に剣道はないが、自分が走ることは剣道界でも喜ばしいこと」と引き受けたそうだ。

現在、1年365日子どもから大人までの指導される傍ら、自身も剣道を続ける体力づくりのためのウォーキングを欠かさない。

素直な心を持った子どもを育てる! パワフルな71歳、志免町の誇りだ。

(議会広報特別委員会 記)



編集後記

開催日 6月21日、24日、
7月2日、6日、9日、14日

「志免町っていいね!」取材、撮影の際には、凛としたお姿とパワフルさに圧倒されました。また、剣道の指導においては子ども達への厳しくも優しさを感じる姿に心を奪われるばかりでした。

また、委員のご近所の親子も撮影させていただきました。

ご協力いただきましてありがとうございました。

議会広報特別委員会



議会広報特別委員会

委員長	亀崎 大介	委員	大西 勇
副委員長	岩下 多絵		大熊 則雄
発行責任者	丸山 真智子		小森 弘美
			稲永 隆義

お知らせ お気軽に
傍聴にお越しください。

次回の定例会は

9月3日予定

議会傍聴は、町民が町政に参加する機会の一つです。ぜひお越しください。

手話通訳(要申込み)、車椅子席もあります。詳細は議会事務局までお問い合わせください。

TEL 935-1262 FAX 935-7070

議会事務局は町役場4階です。

メールアドレス gikai@town.shime.lg.jp





消防ポンプ自動車1台購入 第5分団へ

全員賛成
可決

財産の取得について

購入額は2,087万8,000円(税込)で、うち865万1,000円は空港環境整備協会助成事業助成金で賄われる。これにより町内消防団のポンプ車はすべてAT車になる。



令和元年度に購入された3分団ポンプ車

決 議

新型コロナウイルス感染症と闘う 医療従事者等に対し敬意と 感謝の意を表す決議

全員賛成
可決

提出者:末藤 省三

決議内容

新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威をふるう中、人々の生活や経済活動は大きく制約を受けている。県民生活はもとより、特に検査・医療・救急搬送の現場は、これまで経験したことのない危機に直面している。感染者数が減少傾向に向かっているのは、医療従事者の方々の自らの危険をかえりみぬ献身的な努力によるものである。本町議会は、医療従事者をはじめ新型コロナウイルス対策に携わっている全ての人々に対し、最大限の敬意と感謝の意を表するとともに、その活動を全面的に力強く支える議会活動を展開していく。

条例・主な議案

国の法改正の精神に従う

賛成多数
可決

志免町社会福祉法人の助成に関する 条例の一部を改正

障害福祉サービスは、平成25年障害者総合支援法の施行により、全て国、県、町の支援で成り立っているため、それに伴い町からの助成も終了している。

これを機に町内の他事業所・社会福祉法人との公平性を鑑みて見直しを行うもの。

反対討論 古庄議員

なぜ柚の木福祉会だけが削除になるのか。永年、町の障害者支援と福祉向上に尽力し、世界に志免町の名を届かせた法人。近年懸念される部分もあるが、補助は要綱でやっている訳でこれまでの対応をやるべき。町内全ての社会福祉法人に、公平で公正な対応ができるような条例の改正をすべき。柚の木だけを削除する条例には反対。

賛成者 末藤、大西、牛房、大熊、安河内、丸山(卓)、藤瀬、木村、亀崎、岩下、稲永

反対者 古庄、小森

議員活動と家庭生活の 両立へ1歩前進

全員賛成
可決

志免町議会会議規則の一部を改正(議員提案)

男女の議員が活動しやすい環境整備の一環として出産、育児、介護を欠席の事由に規定する。



地方自治の本懐ともいえる、 ワクチン接種事業は順調に進行

新型コロナウイルスワクチン接種については、付託された予算常任委員会で報告され、質疑・提言等を行った。

1. 高齢者入所施設(12か所)の入所者と従事者 5月17日～順次開始、7月上旬完了予定。
2. 高齢者
 - ・75歳以上(5,878人)
 - ・65歳～74歳(5,626人)
 6月10日現在、65歳以上の予約済みと1回接種済みは8,628人で接種率は75%。
 ※6月23日現在、約82%。
 65歳以上の2回接種ワクチンの供給量は7月上旬入荷予定で十分に足りる。
3. 基礎疾患のある方(16～64歳)の申し込みは590人
4. 年齢に応じて段階的に7月以降に接種券を発送予定。
 ※64～60歳は6月29日発送、それ以下は10歳区切りで発送予定

委員会からの提言

- ・地域での感染防止、重症化防止、医療崩壊抑止のためにも接種の促進を図るように強く要請。
- ・65歳以下の予約ではコールセンター及びWEB予約の課題を精査し、混乱のないように最善の対応を要請。
- ・予防接種に直接係る職員等は優先的に接種を検討すべき。
- ・接種率向上のために良好な環境体制を持続するように要請。



接種前の問診



接種会場での受付



主な歳出

集団接種会場警備委託料

317万円増↑

集団接種会場の駐車場の警備費用

ワクチン配送委託料

660万円増↑

医療機関へのワクチン配送業務

学校運営事業

3,911万円増↑

手指消毒ディスペンサー(電池式)、クロームブック用タッチペン、クロームブック用充電器及びヘッドセット、CO₂モニター、空気浄化装置等、消耗品・備品購入費

委員会

1日1回消毒すれば効力が持続する消毒液を導入するが、アルコール消毒などの全校で統一した使用方法の確定やアレルギー児への対応、各家庭での指導と違いがないように配慮することを提言し、9月議会での報告を要請した。

電子入札等システム導入

572万円増↑

国は地方行政のデジタル化について様々な政策を実施していく考えを示しており、現在紙媒体等によって実施している入札事務について、システムにより行政手続きのオンライン化・電子化を実施し、併せて新型コロナウイルス感染症対策を行うもの

来年度以降年間約360万円の経費がかかるが、事務の効率化や人的ミスの軽減になり担当者の年間150時間の残業が大幅に減る

債務負担行為

粕屋南部消防組合負担金

1,356万円(令和3年4月1日から令和8年3月31日まで)

6月定例会

6月定例会は、4日から16日までの13日間の会期で開かれました。議案8件のうち議案8件を可決。人事案件1件に同意しました。一般質問は6月7日、8日、9日の3日間で10人が行いました。

令和3年度 一般会計補正予算(専決処分を含む)

全員賛成
可決

1億5,008万円増↑ 総額156億9,929万円

主な歳入

子育て世帯生活支援特別給付金事業 (ひとり親世帯以外の低所得の子育て世帯分)

8,329万円増↑

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、低所得の子育て世帯に対し、その実情を踏まえた生活の支援を行う観点から、子育て世帯生活支援特別給付金を支給する

コミュニティ助成事業

540万円増↑

一般財団法人自治総合センターが宝くじの収入を原資として実施する社会貢献事業で、地域のコミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与することを目的として実施される

交付決定事業(歳出として)

・別府一町内会:音響設備等コミュニティ活動備品の整備	250万円
・桜丘南町内会:LED照明設備の整備	120万円
自主防災活動を充実させるために整備する防災機材	170万円



町内会に配備されている防災倉庫



配備予定の発電機

厚生建設常任委員会 開催日 4月21日、5月19日、6月1日



望山荘跡地

危険な空き家への対策を強化！

まちの前向きな決意に 議会も期待

① 法令の整備について

町の条例改正に向け協議検討する。協議会の設置や、民間事業者等との連携体制を含む「空き家等対策計画」の策定を進める。

② 危険廃屋への取組み

空き家の所有者に対し、利活用等の助言を行い、将来的に危険廃屋とならないよう努める。危険廃屋は、

③ 防災・防犯の視点から

所有者に対する通告だけでなく、町の広報やHPでも町民全体に周知し理解を求め、特に危険廃屋の改善交渉は2人以上で訪問、また近隣住民への声かけや情報提供のお願いも積極的に行う。

建築物用途制限と 都市公園法の壁

望山荘解体に伴い、跡地の活用が気になるところだ。

面積は4,864㎡、用途地域の大半は「第一種低層住居専用地域」に区分され、志免福祉公園の一部にもなる。現状では、大変制限された中で活用になるという。

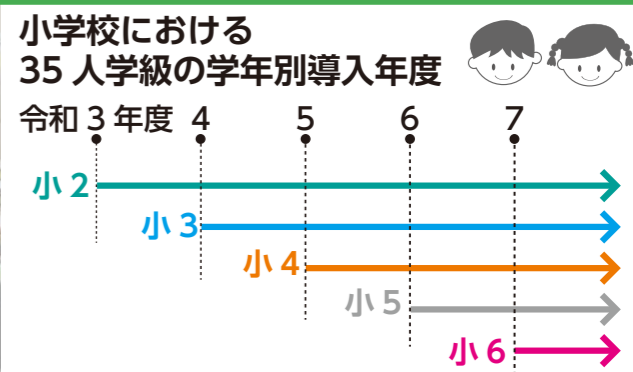
どうなる？望山荘跡地

具体的な活用はこれから町でしっかり考えていく。

ひとくちメモ

第一種低層住居専用地域とは、都市計画法で定められた低層住宅のための地域のこと。住宅以外では小規模なお店や事務所を兼ねた住宅や、小中学校などが建てられる。

総務文教常任委員会 開催日 4月20日、5月21日、6月1日



小学校全学年で「35人学級」実現へ

今ある教室を やりくりして対応可能

公立小学校の1クラス当たりの定員を35人以下に引き下げ、全ての学年で「35人学級」を実現する改正義務教育標準法が4月1日に施行された。すでに1年生は35人以下になっているが、2年生から6年生も40人以下から35人以下に定員を引き下げるもので、令和3年度に2年生を35人以下として、段階的に6年生まで引き下げ、令和7年度には全ての学年で「35人学級」を実現する。

教育委員会から本町小学校の「35人学級」実現の見通しについて説明を受けた。

どの小学校も今ある教室をやりくりして対応可能。問題は西小学校で、令和6・7年度に通常学級が2学級と特別支援学級が3学級不足する見込み。分割していない特別支援学級が2学級、通常学級に転用可能なパソコン室、学童が利用している教室

と特別支援学級に転用可能な第2保健室があり、対応可能と考えるとの説明だった。東及び南小学校では、南小の6年生以外は現在でも全学年35人学級を達成している。

Q 段階的に35人学級を目指すよりも一気に実施すべき。

A 県から配置される教職員定数があり、要請しているが教職員不足で難しい。

委員会からの提言

令和7年度を待たず中学校も含めた35人学級の1日も早い達成と、30人学級実現への準備を強く要請した。



稲永 隆義 議員

町民の心配の声に応えるべき

町長 町の開かれた行政を知らせる

稲永 第2期志免町財政計画の収支予測は、5年間でマイナス約23億6000万円。全て財政調整基金(貯金)で補うと、33億5000万円あった貯金が約10億円にまで減る予測となっている。 厳しい予測の理由は、今年度から志免町公共施設個別施設計画(ホームページに掲載)が本格始動したから。この計画は、古くなった公共施設の建て替えを極力減らし、長寿命化改修をすることで経費を削減するもの。これからの10年間で13の公民館、町民センター、役場庁舎、町民体育館、町民ふれあいセンター、南保育園、シーメイト等の改修が計画されている。 45.7億円の経費が見込まれている。

あと1年もすると、町民の方々の公共施設を改修していくごたあが、お金は大丈夫ねとの声が聞こえてきそう。 町民の皆さんのご心配に応えるべきと考えるが。 町長 計画も含め収支の状況等の行政の情報を、しっかりお知らせする必要がありますと考へている。 稲永 財政計画をホームページに掲載しない理由は、 経営企画課長 これまでは内部的な書類と位置づけていたが、これからはホームページに掲載し町民の皆さんに見て頂く。(現在はホームページに掲載されています。) 稲永 歳入の見通しで、ふるさと納税は順調に増えている。今年度から、8億円くらいで頭打ちの予測。その根拠は、 経営企画課長 志免町の返礼品の殆どがもつ鍋。もつ鍋は福岡県の県産品となり自治体でも取り扱えるようになったこと。 8億円は堅持していきたい。 稲永 まちづくりと予算には財政調整基金残高20億円堅持、財政計画には臨時財政対策債を除く町債残高28億7800万円目標とあるが、実現可能か。



ひとくちメモ ※臨時財政対策債 国の予算の都合により本来地方交付税として配分されるべき額の不足分を自治体が直接借入して調達するもの。後年全額交付税措置される。

経営企画課長 財政調整基金は災害に備えて20億円程度は準備しておきたい。財政調整基金以外の基金、例えば、公共施設公営施設整備基金、減債基金、おうえん基金等を活用し、財政調整基金残高及び、町債残高の目標を目指したい。

志免町公共施設個別施設計画(10年間の主な改修スケジュール)

	2020 (R2)	2021 (R3)	2022 (R4)	2023 (R5)	2024 (R6)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2028 (R11)
町民センター			長寿命化改修							
志免町役場										
町民体育館										
ふれあいセンター										
志免南保育園										
シーメイト								大規模改修		
生涯学習1号館										

この他に、10年間で13の公民館の長寿命化改修が計画されている。(経営企画課のホームページに掲載)

ズバリ!! 町政を問う!

稲永 隆義 議員

9P

- ① 町民の心配の声に応えるべき

木村 俊次 議員

10P

- ① 町の農業について
- ② 町の高齢者2025問題について

丸山 卓嗣 議員

11P

- ① 建蔽・容積・高さ制限の緩和を
- ② 町所有の空地活用方針の発信を

亀崎 大介 議員

12P

- ① 子育て支援から全世帯支援へ

岩下 多絵 議員

13P

- ① コロナ禍 今こそ守ろう口の健康

牛房 良嗣 議員

14P

- ① シニアのスマホ学習会に支援を

小森 弘美 議員

15P

- ① マスク着用困難な方の対応は
- ② 生きがいを持って働く環境を

藤瀬 康司 議員

16P

- ① 小中学校の体育館にエアコンを

末藤 省三 議員

17P

- ① 学校での電磁波対策について
- ② 学校トイレに生理用品の備えを

古庄 信一郎 議員

18P

- ① 町のハラスメント条例等は曖昧

● 一般質問とは議員が町政全般(一般事務・事務の執行状況・将来に対する方針など)について、町長など執行機関の考えを議員個人として問いただすことです。質問の内容は事前に通告し、持ち時間30分の範囲内で*1問1答で行います。 ※質疑、答弁を理解するまで繰り返す方法

● 会議録に基づき議員個々の自由編集で掲載しております。詳細は会議録(HP・図書館・各公民館に置く)をご参照ください。掲載は質問順としています。



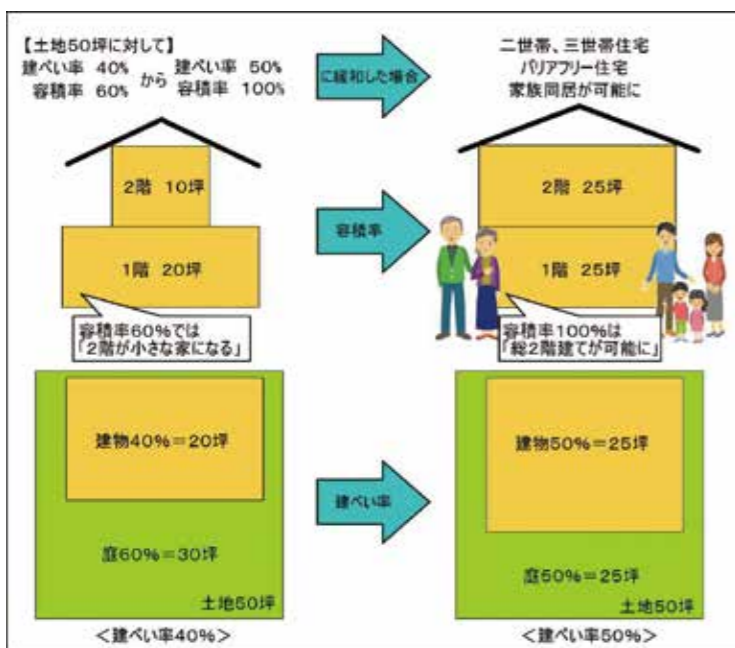


丸山 卓嗣 議員

建蔽・容積・高さ制限の緩和を

町長 しっかり検討し早期に進めたい

丸山 都市計画において建ぺい率、容積率、高さ制限とは、**都市整備課長** 敷地面積に対する建築面積と床面積の限度を示す。
丸山 人口増加、定住化促進の観点から、2世帯住宅建築が可能となる制限の緩和を図っては。
都市整備課長 高齢化やUターン等に対応し緩和を行うことは可能であると考えている。
丸山 人と地域が世代や分野を超えて支え合う社会福祉の実現。そのキーワードは家族の同居にあり、究極の福祉は3世帯の同居であると考えている。町の考えは、**都市整備課長** 多世帯住宅



第一種低層住居専用地域で建築規制緩和を行った場合のイメージ

町所有の空地活用方針の発信を

町長 しっかり分析し早期に進めたい



東地区社会体育館跡地

丸山 東地区社会体育館や望山荘の解体後の跡地について。第一に町が何をしたいかを発信すべき。そして実現に向けて機運を高めていくことが政治の役目だと考える。次に、たくさんの方に知恵や資金を集約し実現するのは民間企業であり経済界であると考えている。
この民間力の活用は公共施設の建設も同じと考える。町長の考えは。
町長 今何が必要か、しっかり分析し早期に進めたい。また民間の力も大事だと思っている。



木村 俊次 議員

町の農業について

町長 農業従事者の声を聞く

木村 志免町の①農地面積②農業従事者③平均年齢は。**都市整備課長** ①66ヘクタール②99人③68歳。
木村 農家の所得について、志免町の農地は99%以上が米農家。田1反当たりの収支および休耕管理費は。
都市整備課長 元気つくしで1万7千円の赤字。休耕管理費は6万円。
木村 米を作っても作らなくても毎年赤字になっている。
町長 農業収支の中には人件費は含まれていない。農業従事者は農地を維持するために大変苦労されている。



吉原地区の農地

農業従事者の声を聞き、できることをやっていきたい。
木村 50年前に作られた都市計画法の見直し(農地の地域による格差について)。
町長 市街地調整区域、市街化区域の格差について土地所有者の意見を聞き、何らかの方策を進めたい。
木村 都市計画マスタープラン等で考えてほしい。

町の高齢者2025問題について

町長 地域と行政が一体となり進める

木村 2025年問題とは。
町長 団塊の世代が2025年には後期高齢者になられる。
木村 町と全国の後期高齢者の推移は。
福祉課長 町の2020年の75歳以上は5320人で11.5%、全国は14.9%。2025年は6589人で14.2%、全国17.8%。(町は全国平均より低い)
木村 医療費の今後の見通しは。
住民課長 厚労省の推計では2025年は2019年の1.3倍に増える。町も例外ではない。
木村 認知症、寝たきりの増えることでの対応は。
福祉課長 第8期介護保険事業計画に沿い、地域密着型サービスを整備し対応する。
木村 2025年問題はスタートしている。
町長 もう始まっている。地域共生社会は、医療・介護をみんなで考え、地域と行政が一体となって進めていく。





コロナ禍 今こそ守ろう口の健康

町長 担当課も含め皆で協議検討する



岩下 多絵 議員

岩下 今年度より第6次志免町総合計画がスタート。町民の健康づくりの推進について質問する。自粛生活の中でマスク生活が続く結果、お口に与える影響は。

健康課長 □呼吸の悪影響は、□の乾燥による細菌やウイルスの侵入、粘膜の炎症、免疫力の低下があり、唾液の減少は虫歯や歯周病の原因、酸素不足は代謝を低下させ疲れやすくなる。□周囲の筋肉が衰え、いびき、睡眠時無呼吸症候群等にも影響する。

岩下 □周囲の筋肉の衰えは見た目、ほうれい線が深く老けた印象になる。嚥下力も低下しムセが増

え誤嚥性肺炎を起こしやすい。町民へ□の機能低下を防ぐため、媒体の活用、周知活動は。

健康課長 介護予防事業の案内時に配布している。今後、広報やHPで啓発に取り組みたい。

岩下 子どもたちへの取組み、保育園、小中学校の昼休みの歯みがき習慣は。

子育て支援課長 保育園では歯や□の健康は生涯にわたる健康づくりの基盤という考え。昼食、おやつ後の歯みがき実施。

学校教育課長 学校では歯科検診のみ。コロナ対策の為、指導も昼休みの歯みがきも行っていない。時間も取れない。

岩下 食後のブクブクうがいの時間は取れるのでは。□の周囲筋をしっかりと動かす事で機能の低下防止につながる。推奨して欲しい。

岩下 校医との連携は。

も広げていかなければならない。衣食住に占める支出が高くなり節約は難しい。子育て世帯を確保して志免町でお金を循環させ、経済を回す。事業者の発展や新事業者参入など町は発展していくと考える。そうして、増えた税収で介護や障がい者支援、防災など様々な費用を賄っていかないと考える。

町長 できることはしっかりと取り組んでいく。

亀崎 志免町の生産やサービス、消費までを完結させる努力をしてみようか。例えば、子育てパスを提示すると数%割引やドリンク無料など商工会と連携できないか。

まちの魅力推進課長 福岡県が実施している「子育て応援の店」を広報やホームページで紹介していく。

岩下 長年携わる校医は□の状況から個人の変化に気づく。DVやネグレクト等が潜む場合もあるので、是非とも連携を。

教育長 検診後、意見交換の場を設け、状態把握に努めたい。

岩下 □腔ケアや□腔リハビリは誤嚥性肺炎の予防につながる。コロナ禍、今こそ町民の自己管理意識を高めてもらうことが大切。□の健康に力を入れ肺炎が減ると、医療費削減にもつながる。目指せ健康長寿の町。広報で特集を組み啓発活動を行ってみたい。

町長 コロナ禍でもできることはある。広報



嚥下障害予防体操

子育て支援から全世帯支援へ

町長 できることはしっかり取り組む



亀崎 大介 議員

亀崎 コロナ禍での人とのつながりの場を提供するために、オンラインでの雑談会を開催できないか。

子育て支援課長 オンラインに慣れている方は抵抗なく参加できると考える。

亀崎 睡眠不足解消やリラックス、リフレッシュするために、託児をして参加できる講座を開催しては。

社会教育課長 お母さんに合った講座の紹介や新規講座の企画などその方に合った講座を提供したい。講座の際、託児室も利用できる。

亀崎 いま志免町は、子育て世代に選ばれている。しかし、次の世代また次の世代にも選ばれ続けなければならぬ。子育て世帯を多く確保しなければならぬと思うが。

町長 若い世代の方が志免町に住居することはありがたい話。

亀崎 町長は、「子育て世代に選ばれる町」を掲げているがそれはなぜか。

町長 質問の内容がよくわからないが、「子育て世代に選ばれる町」は、継続して取り組んでいく。

亀崎 私が子育て支援をする理由は、子育て世帯はお金を使わなければならない世帯だからだ。衣食住で考えると、「衣」おむつをはいていた子どもがおむつが取れて服を買う。服もサイズアップしていく。「食」人数分食べる量が増えるため食費が増える。「住」子どもが増えると住む場所

も広げていかなければならない。衣食住に占める支出が高くなり節約は難しい。子育て世帯を確保して志免町でお金を循環させ、経済を回す。事業者の発展や新事業者参入など町は発展していくと考える。そうして、増えた税収で介護や障がい者支援、防災など様々な費用を賄っていかないと考える。

町長 できることはしっかりと取り組んでいく。

亀崎 志免町の生産やサービス、消費までを完結させる努力をしてみようか。例えば、子育てパスを提示すると数%割引やドリンク無料など商工会と連携できないか。

まちの魅力推進課長 福岡県が実施している「子育て応援の店」を広報やホームページで紹介していく。

等で町民の皆さん方に□の健康増進についてお知らせすることは非常に大事。担当課を含め皆の意見を聞きながら進めていきたい。

町長 県と連携しながらアピールしていく。

亀崎 見かけではサービスがわかりにくい。啓発活動はできないか。

町長 県と連携しながらアピールしていく。



子育て世代に選ばれる町へ



マスク着用困難な方の対応は

町長 準備し早急に対応する



小森 弘美 議員

小森 やむを得ずマスクを着用できない方がおられる事を認知しているか。又、そのような声があがっていないか。
福祉課参事 皮膚の病気、呼吸器疾患、脳の障害、発達障害、感覚過敏のある方がマスク着用困難であると認知している。マスク着用困難との報告は3件である。
小森 町の小中学校におけるマスク着用が困難な子どもへの対応は。
学校教育課長 マスク着用にて代えてマウスシールドを着用している。

小森 子どもの場合、先生をはじめ大人が気を留めていくべきでは。
教育長 マスクを着けていない子ども達への気遣い、考え方は浸透しており、理解は進んでいる。
小森 国はマスク着用が困難な事を意思表示するカードやバッジの規格を統一し、普及に力を入れている。町でも取り入れてみては。
町長 早急に作るように指示している。



健康課窓口に設置



意思表示カード

生きがいを持って働く環境を

町長 月額制度に移行 慎重に検討する



小森 志免町の会計年度任用職員の方の9割がパートタイム会計年度任用職員である。①職務の量に対して適切な勤務時間の設定はできているか。②職務によってパートタイムの時間帯で業務に差し障りはないのか。
総務課長補佐 勤務移管に応じて勤務時間を積み上げるところで設定しており、パートタイムでもやれるという判断で設定している。
小森 資格を持つ方に対して、具体的に町として勤務体制や報酬等について相談窓口とか待遇改善を行う体制を整えているか。
総務課長補佐 報酬面は月額制というところで月によって凹凸があり、心情面で生活の上で苦慮されていると聞く。修正できれば修正していきたい。
小森 町長の所見は。
町長 月額制度に移行できればと思う。慎重に検討したい。

シニアのスマホ学習会に支援を

町長 もっと広がるよう紹介する

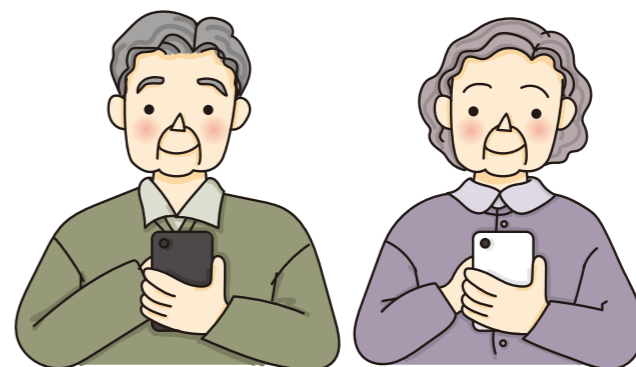


牛房 良嗣 議員

牛房 デジタル化への改革のスピードは早い。政府の進めるデジタル化の行政サービスの恩恵を受けるには最低スマホを使えることが大前提。不慣れなスマホの活用をどう解決するかが今の一番の課題。菅首相はスマホの一人の取り残しも置き去りも出さない国を挙げて全力で取り組むことを明言。志免町内のシニアのスマホ学習をどう進めていくのか。町長の所見を問う。
町長 まずシニアの方達が真剣に覚えようという気持ちを持って貰うことが大事。スマホの学習会については講座を設けて実施。携帯会社の教室もある。希

望者が多ければ講座を増やすことも考えなければいけない。まずはシニアの方達がスマホの学習に意欲をもって貰うことが大事。
牛房 多くのシニアの方々は現在使われているガラケーの携帯電話が5年以内に使えなくなり、今後どうするか不安と心配でいっぱい。高齢者はスマホを決して敬遠していない。楽しいところがありそうだから出来れば勉強したい。しかし、自信がない。
地域シニアクラブの総会があり40人の会員が出席、会の最後に「スマホ学習会」に関するアンケート用紙が配付され30名からの回答があった。回答者30名は全員70歳以上。スマホを使える人12名、携帯電話利用者18名。スマホの学習会に参加したい人は80%の24名の希望があった。当シニアクラブでは直ちに「シニアスマホ学習会」実施に向け検討。大手携帯会社より協力の申出あり。講師、助手の派遣、スマホ機の貸与等いづれも無料との提案

があり、受け入れを了解。コロナ緊急事態宣言解除後受講者の募集を予定。当シニアクラブを含めて3クラブが実施に向けて始動。シニアの方は仲間と一緒に学べることを楽しみに待ち望んでおられる。
町長 シニアの皆さんのスマホに対する意欲をお持ちの方が多くに今この話を聞いて驚いている。取組みがもっと拡大していくよう他のシニアクラブにも紹介していきたい。
牛房 高齢者のスマホの学習だけに止まらず、フレイル、認知症問題等にも勉強会が広げられ非会員の方達も自由に大勢の方が参加されることを願う。「スマホ学習会」が最高の勉強の場になるように、シニアクラブ一丸となつての取組みに期待する。





末藤 省三 議員

学校での電磁波対策について

教育長 生徒の健康を守り学びを進める

末藤 もう既に始まっている、電磁波5G対策について、強い力を持つ人工の電磁波は、電気の力を呼ぶ電場、電界と磁気の力を呼ぶ磁場、磁界が生み出す波のことで、身の回りにたくさん存在している。電磁波をどのように受けとめ実施しているか。

総務課長補佐 第3世代、第4世代の電波よりも高い周波数が使われ高くなったとしても、人体に及ぼす影響が変わる訳ではないということと安全性が示され、認識をしている。

末藤 世界保健機関WHO

末藤 の国際がん研究機関IARCは携帯電話WiFiなどで使われる無線周波数電磁波を発がん性の可能性があると認定。外にも免疫系、内分泌系の異常、精子の奇形、流産、不妊、認知症など神経変性疾患に関わると言われている。

学校では小学生の目まみや嘔吐、睡眠障害、健康被害、学校に導入されているのは2.4ギガヘルツ及び5ギガヘルツの無線ランで、健康影響が指摘されている。

金子教育長 子どもの健康を守りながら学びを進めることが最優先である。

学校トイレに生理用品の備えを

町長 学校と協議しいい方向で進める

末藤 今、全国で貧困における生理用品をトイレに設置することが進められている。町長の考えを聞きたい。

町長 子どもの貧困問題について生理用品をトイレにとの要望であるが、町の備蓄品を各学校に届けている。学校の保健室でいいのかわ、トイレに置いた方がいいのか、学校現場と協議をしながらいい方向で進めていきたい。

教育長 子どもたちの現状に寄りそうということが一番大切であり、実態があれば置き場所については考慮できると考えている。



藤瀬 康司 議員

小中学校の体育館にエアコンを

町長 必ず近い将来は設置が必要

藤瀬 地震や豪雨などの災害が相次ぐ中で、災害時の避難所としての体育館へのエアコンの設置は志免町にとって重要課題だと考える。志免町指定避難所でエアコンがついていない施設は。

生活安全課長 各小・中学校の体育館6か所、志免町民体育館、西部地区社会体育館、桜丘共同利用施設の体育館部分の計9か所。

藤瀬 夏場に災害が発生した際の熱中症対策、暑さ対策は。

生活安全課長 扇風機、またスポットクーラーを設置している。

藤瀬 学校体育館は授業や部活動また災害時には町民の命を守る避難所となっている。エアコンなしの体育館は果たして避難所としての役割を果たせるのか。また教育環境向上の意味からも体育館のエアコンの整備はとも重要だと考える。防災・減災、教育環境向上の両面から、今こそ体育館へのエアコンの整備が求められている。

学校教育課長 設置に費用がかかる。

藤瀬 エアコンの設置について先生や生徒、保護者から、体育館にエアコンをつけられないのかという声は。

学校教育課長 直接的には声はあがってきていない。

藤瀬 体育館にエアコンがないことをどのように考えているのか。

教育長 長期的に見ていく必要がある。



エアコン設置体育館 行橋小学校

藤瀬 体育館の中で万が一熱中症が発生して、子どもたちに何かあった場合は。

教育長 教職員一丸となって注意を払っている。しかしそのような状況が起きたときはしかるべき対応を取っていく。

藤瀬 志免町民体育館は改修工事の際に取り付け可能か。

町長 必ず近い将来は体育館にも設置が必要。真剣に検討を行い、前向きに進めていきたい。

社会教育課長 志免町の中心的な体育館、体育施設になるので改修計画に合わせて空調設備の導入については検討したい。

藤瀬 町長は学校教室すべてにエアコンを設置した。体育館設置の見解は。



政務活動費を公表します

令和2年度(4月~3月)分 政務活動費 どう使ったか公表します



政務活動費ってなに?

議員が調査研究その他の活動を行うために経費の一部として交付されるものです。志免町では、議員に対して、一人当たり月額2万円が交付されています。



どういうものに使えるの?

議員が行う調査研究、広報、広聴や研修会への参加など、町が抱える課題や町民の意思を把握し、町政に反映するための活動などが対象になります。政党活動、選挙活動、後援会活動、私人としての活動のための経費等は対象となりません。



お金が余ったらどうするの?

残金はすべて町に返還します。



お金は適正に使われているの?

志免町議会では1円から領収書が必要で、報告書書類は議長が必要に応じて調査を行います。



令和2年度(4月~3月)政務活動費収支一覧表

氏名	交付額 (4月~3月)	支 出							合計
		研究研修費	調査旅費	資料作成費	資料購入費	広報費	公聴費	その他	
稲永 隆義	※条例に基づく交付限度額は24万円です。	38,800		123,120		84,036			245,956
岩下 多絵		8,000		203,126	44,160				255,286
亀崎 大介		39,350		141,402		59,741			240,493
木村 俊次				6,658	11,160				17,818
小森 弘美		34,800		164,780	21,120	10,142			230,842
藤瀬 康司					79,974				79,974
丸山 卓嗣				110,000		130,000			240,000
安河内 信宏				222,528	41,964				264,492
大熊 則雄				20,867	59,662				80,529
丸山 真智子		50,000			27,822	69,300			147,122
牛房 良嗣				175,320		69,129			244,449
大西 勇						74,134			74,134
古庄 信一郎		8,000		146,247		94,527			248,774
末藤 省三				25,942	107,020				132,962

- ※研究研修費…研究会若しくは研修会を開催するため又は他の団体の開催する研究会若しくは研修会に参加するための経費
- ※調査旅費…調査研究活動のために必要な先進地調査又は現地調査に要する経費
- ※資料作成費…調査研究活動のために必要な資料の作成に要する経費
- ※資料購入費…調査研究活動のために必要な図書、資料等の購入に要する費用
- ※広報費…調査研究活動、議会活動及び町の政策について住民に報告しPRする経費
- ※公聴費…住民から町政及び議員の政策に対する要望及び意見を吸収するための会議等に要する経費
- ※その他…各項目の経費以外で議員の行う調査研究活動に必要な経費

町のハラスメント条例等は曖昧

町長 曖昧と認識、早めに変更を行う



古庄 信一郎 議員

古庄 令和元年ハラスメント防止関連法、昨年は改正労働施策総合推進法が施行され、職場におけるパワハラ防止対策が事業主にも義務付けられ、地方公共団体も遵守が求められた。このような背景下、連日パワハラ報道がなされ、隣町での紛糾報道もある。また志免町でも先般、ある団体のパワハラについて悲痛な思いで私に相談があった。町のハラスメント防止の基本的考え方を伺う。

町長 個人の尊厳を傷つけ人格を否定するもので当然許されない。

古庄 志免町役場内におけるこ

こ数年のハラスメントの相談件数は。

総務課長補佐 令和元年に1件。

古庄 厚労省のデータでは35%が受けたとある。この1件が実態なら素晴らしい組織だが、一方考えると相談できる体制ではないということ。町のハラスメント防止要綱では、相談窓口は総務課とだけ明示。近隣町他は相談員、場所指定、顧問弁護士まで相談員となっている。職員懲戒審査委員会のメンバーも職員以外の外部から登用。また職員の分限に關しても公平に審議する場もない。志免町はハラスメント、懲戒処分、分限に關して、条例要綱等全てが簡単すぎて曖昧。見直すべき。

町長 整備ができていない。条例のあやふやな部分もあると認識。

古庄 学校に勤務する職員の相談窓口は、服務監督権者の市町村

相談窓口



の教育委員会に設置とあるがどうか。

学校教育参事 学校教育課が窓口。

古庄 県通達の中には先生による児童・生徒や父兄に対するハラスメント、逆に父兄による先生へのハラスメント、これも相談窓口で対応とある。校内でも色んな所に相談と言われるが町同様実に曖昧。またパワハラが一番多いのは任用職員、パートの方が混在している職場と言われている。相談しやすい環境を作ることが大事。志免町独自のチャート、マニュアル等を策定して、役場内は当然、補助金を出している関係団体、法の遵守が義務付けられた町内の企業にも、講演なり指導するなりして、働き易い、住みやすい環境の志免町になっていくべき。

町長 パワハラ・セクハラについては条例他不備な点が多々ある。200名を超える任用職員がいる志免町として、今回の質問を受けて、しっかり検証、検討し、弱い立場の人をいかに救うかも含め、早めに条例変更等をさせて頂く。